

平成21年度学校関係者評価（全方位的な点検・評価）

世田谷区立深沢中学校（平成22年2月）

1 平成21年度深沢中学校の教育

I. 本校の目標及び計画

◎ 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調として、広い視野と社会の変化に主体的に対応できる力をもち、創造性や人間性が豊かな生徒の育成を目指して、教育目標を次のように定める。

- ・意欲をもち学ぶ生徒
- ・自律心を身につける生徒
- ・すすんで心身を鍛える生徒

◎ 学校経営方針

1、目指す学校像

- （1）基礎基本の定着と学び方の習得が両輪となって確かな「学力」を育む学校。
- （2）コミュニケーション能力を高め、社会で自己を生かす確かな「社会力」を育む学校。
- （3）全教職員が組織の一員としての自覚を持ち、確かな「組織力」で生徒を育む学校。
- （4）家庭・地域との連携を深め、信頼と誇りのもてる学校。

2、学校経営の基本方針

- （1）確かな「学力」を付ける。
わかる授業で身に付ける基礎基本と、自ら課題を解決するなかで身に付ける学び方の習得を両輪とする確かな「学力」を育てます。
- （2）確かな「社会力」を付ける。
コミュニケーションを通して共感し自己表現していく能力と、社会の一員としてよりよい生活を築こうとする実践的な態度を身につけて確かな「社会力」を育てます。
- （3）確かな「組織力」を付ける。
学校は教職員一人一人が個性豊かで高い専門性と教育哲学を堅持すると同時に、目標に向かって機能的に編成された組織体でなくてはならない。全教職員が組織の一員としての自覚を持ち、確かな「組織力」で、生徒一人一人の確かな「学力」と、「社会力」を育てます。

3、学校経営目標（重点目標の設定）と方策

（1）教育ビジョン推進のための中期的目標と方策

- ①地域と共に子どもを育てる教育の推進
 - ・学校協議会の充実、校内に地域活動委員会を新設、親父の会の連携等により、地域行事や地域ボランティア活動に積極的に参加する生徒を育成します。（重点目標1）
 - ・地域・関係諸機関と連携した安全指導により地域防災参加の意識を育てます。
 - ・地域運営学校への基盤整備を始める。
- ②未来を担う子どもを育てる
 - ・地域と連携した職場体験を実施し生涯を見通したキャリア教育の充実を図ります。
 - ・情操教育、教科「日本語」等により豊かな情操と、日本の文化・伝統を大切に継承できる生徒を育てます。（重点目標3）
- ③信頼と誇りの持てる学校づくりの推進
 - ・学校を開き、生徒・保護者・地域の評価を実施して、学校の教育活動を的確に分析し改善していくことで、信頼される学校づくりを推進します。
 - ・災害や危機等に対する備えをしっかりと行い、安心・信頼できる学校にします。

（2）今年度の目標と方策

確かな「学力」を付けるために

- ①各教科
 - ・T T、少人数指導、補充・発展指導、補習などで習熟度に応じて一人一人の力をさらに伸ばしていく指導をします。「鍛える学校」
 - ②教科「日本語」・美しい日本語を世田谷の学校から（重点目標3）
 - ・校長講話と授業を関連付けたり、題材に応じてT T等を組み理解を深めていきます。
 - ③道徳
 - ・「人格の完成を目指して」の月ごとのテーマに関する校長講話を全校朝礼で実施し、続く道徳の授業で深化させ、テーマについて考えたことを表現できるようにします。
- *言語活動の充実
- ・知的活動やコミュニケーション、感性・情緒の基盤である言語を活用できる能力をすべての教育活動の中で発達段階を考慮して計画的に育成していきます。
 - 『原稿を見ないで意見を述べる力』を身に付けさせたい・・・鍛える学校

確かな「社会力」を付けるために

- ①生活指導…事が起こってからの生活指導から、あるべき姿・人格の完成を求める攻めの生活指導へ
- ②環境美化…人が環境を創り。環境が人を創る。心の教育はまず“きれいな環境(言語・施設)”から
- ③特別活動…行事の活性化
 - ・生徒会活動、学校行事、部活動等で生徒一人一人の個性、実行力、自律心を育てます。
 - ・教職員が協力して多様な部活動を開設し90パーセント以上の生徒の加入率を定着させ、多くの外部指導員の活用により指導の充実を図ります。

確かな「組織力」を付けるために。

- ①教職員の「組織力」を最大限に高めていきます。
 - ・分掌、学年・学級経営上の課題を明確にし、改善策を立てる。それを共通実践し学校運営に全教職員が協働で取り組みます。
 - ・調査なくして実践なし。生徒、保護者、地域の実態把握に基づく実践を心がけます。
- ②小中高の連携、保護者・地域との連携と情報の発信
 - ・桜町小学校、深沢小学校との3校合同学校協議会や合同研修会、ふれあい挨拶デー、桜町高校、深沢高校、園芸高校との職員交流、部活動交流、出前授業などの学校間連携により小中高を見通した教育活動を推進します。
 - ・地域、保護者の学校評価を取り入れると共に、教育活動への参加を推進します。
 - ・学校公開週間、土曜授業参観、各行事等で学校を公開し、その都度保護者、地域の声を求め学校運営に反映させていきます。
 - ・地域や、PTAの行事に教職員、生徒が積極的に関わるように促していきます。
 - ・学校だより、学年だより、ホームページ等により積極的に情報を発信する。

(重点目標2)

4. 私の教育信条・最も大切なこと

- (1) 人権尊重の精神を堅持するもののみが生徒に人権尊重の精神を育むことが出来る。
- (2) 自ら学び続けるもののみが生徒に学びの喜びを伝えることが出来る。
- (3) 自ら律しうるもののみが人を指導し、人を変えていくことが出来る。
- (4) 心身の健やかさを何よりも大切にしよう。

◎ 学校の教育目標を達成するための基本方針

心身ともに健康で、広く国際社会においても主体的に生き、創造性や人間性豊かな生徒の育成を目指し、次の事項を基本として教育を推進する。

- ア すべての子どもが人権尊重の理念を正しく理解し、自他を敬愛し、豊かな人間性をもつよう、人権教育、情操教育などを推進する。
- イ 自発的な学習活動を促すとともに基礎・基本の徹底を図り、生涯にわたる学習の基礎を培う。また、社会体験や自然体験を重視した学習指導法、評価のあり方の工夫・改善を図り、創造性と応用力を育み、個性を生かす教育を推進する。
- ウ 地域がもつ教育力を生かすため、家庭・学校・地域が連携する地域教育基盤を整備するとともに、保護者・地域の方々が積極的に教育活動に参画する機会を多く設定し、地域とともに子どもを育て、地域に根ざした教育を推進する。また、勤労観の育成や生涯に渡って学び続ける人間の育成を目指して、キャリア教育を推進する。
- エ 保護者・地域の方々から信頼される学校づくりを目指す。そのため教員の資質向上を図るための研修や学校評価システムを充実させるとともに、学校の情報公開を推進する。
- オ 学校図書館の活用を通して主体的に物事を探求し、自ら表現できる力を育成するとともに読書する習慣を身に付けさせる。
- カ 広く国際社会において信頼され活躍することができる豊かな人間性を育成するために、教科「日本語」の学習を通して、深く考える力やコミュニケーション能力を育て、日本の文化や伝統を大切にする態度を養う中で、美しい日本語に対する関心・理解を深め、言葉を大切にした教育活動を重視する。

II. 学校の概要

(1) 校長 野崎裕一郎

(2) 学級数・生徒数 (2月1日現在)

1年	4クラス	(男子89名、女子44名)	計133名)
2年	4クラス	(男子80名、女子52名)	計132名)
3年	4クラス	(男子76名、女子55名)	計131名)
全校	12クラス	(男子245名、女子151名)	計396名)

(3) 学校の概要

- ア 世田谷区の西南、富士を臨む高台に位置します。すぐ近くには能見川緑道沿いの桜並木や駒沢公園があります。
- イ 生徒会活動、部活動や各所の行事が充実し、その中で生徒達は伸びやかに学校生活を送っています。
- ウ 生徒の学習への意欲も高く、授業へ集中した生徒の姿が見られます。
- エ 保護者は学校へ協力的で、PTA活動も盛んに行われています。

(4) 住所 〒154-0014 東京都世田谷区新町1-26-29

電話 (03) 3703-0158 ファックス (03) 3703-2733
Eメール sg001@tfuwa.setagaya.ed.jp ホームページ <http://www.setagaya.ed.jp/tfuwa>